

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣商業高等学校 学校番号 26

## I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を育成 (2) 地域、家庭、学校の連携協力による明るく、活力ある、地域社会人の育成			
2 評価する領域・分野	進路指導（就職指導・進学指導）			
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・「進路情報の提供」について生徒のA評価が5%減少(R3:53%→48%) C評価も1%(R3:4%→3%)減少。保護者では、C評価7%(R3:7%→14%)上昇した。また「具体的な進路指導」については生徒のA評価は5%減少(R3:56%→51%)し、保護者ではA評価が22%(R3:40%→18%)減少した C評価(R3:5%→7%)と2%上昇した。コロナ禍対策はこれからも継続する。休校になっても情報提供ができるよう心掛けたい。			
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇就職指導＝①内定率100% ②基礎学力・コミュニケーション能力の養成 ◇進学指導＝①志望する大学等への進学100% ②基礎学力の定着と大学入試センター試験に対応できる学力の養成			
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・全職員による指導意識の共有 ・全職員による小論文・面接指導			
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標			
(1) 就職指導＝①就職試験対策講座の充実 ②面接指導の強化 ③内定者に対しての継続学習 (2) 進学指導＝①週間課題(英語・国語)の実施 ②志望動機の書き方指導 ③合格者に対しての継続学習	(1) 一次試験合格者数、面接練習の進捗状況の把握 (2) 週間課題(英語・国語)の取組状況の把握と補習への参加状況 (3) 内定者・合格者の継続学習への取組状況の把握			
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価		
(1) 就職指導＝①就職説明会の実施 ②適性検査の実施 ③進路指導部、業者による面接指導 (2) 進学指導＝①小論文講習会 ②週間課題(英語・国語)の実施 ③志望動機の書き方指導 ④有名私大受験対策実施	就職 (R5.1月現在) ① 就職希望者 50名内定 ② 公務員希望者 6名合格 進学 (R5.1月現在) 未定4名 進学希望者 (合格者) 国公立6名、私立四大130名、 公立短大2名、私立短大8名 公立専門2名、私立専門 40名	A <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> C D  A <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> C D		
11 成果・課題	○昨年度よりも求人件数が15%減少しているが、校内での就職者も減少しつつある。本年度は、就職試験開始日も例年通りに戻った。製造業を中心に回復傾向にある。本校への求人はとても多いが就職者が年々減少している。 ○大垣商工会議所による西濃地区の合同企業展も例年通り実施できた。 ○今年度は学校への求人票はデジタルデータで生徒に閲覧させた。 ○進学希望者については、本年度は国公立への受験希望者がすくなかったが、希望生徒はほぼ合格することができた。 ▲指定校推薦で入学する生徒たちの、受験に対する意識が低く、筆記テストの点数も低い。今年度は、有名私大試験対策を設けた。 ▲コロナ禍の中で、保護者への進路情報の提供不足だった。		総合評価 A <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> C D	
12 来年度に向けての改善方策案				
・コロナ禍で、保護者への情報提供の増やす方法を考えたい。 ・今年度は就職者に対し家庭でも相談がしやすいように、求人票をデジタルデータで配信した。 ・進学者に関しては、受験シーズンを過ぎてもコツコツ努力し、学力をつけて卒業させたい。				

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年1月25日

### 【意見・要望・評価等】

- ・今後も大学等への進学後の就職までを見通した進路指導をしてほしい。高校卒業後も何かあった時に生徒が相談できる学校であってほしい。
- ・きめ細かい進路支援により、1月末時点でほとんどの生徒の進路が決定しているが、進路未決定の生徒には、引き続き生徒に寄り添った指導をお願いしたい。